

社会資本総合整備計画 モニタリングシート

愛知県蒲郡市

令和5年3月

愛知県蒲郡市

社会資本総合整備計画 事後評価書【モニタリング】

令和 5年 3月 日

計画の名称	次世代へつなぐ快適安心まちづくり		
計画の期間	令和2年度～令和6年度(5年間)	交付対象	愛知県蒲郡市
計画の目標			

蒲郡市は、三河湾と山々に囲まれた豊かな自然環境に恵まれ、温泉郷をはじめとした観光地を有する都市である。また、こういった地域特性から比較的コンパクトな都市構造を形成しながらまちづくりが進められてきた。今後においては、さらに進行していくことが予測されている人口減少・少子高齢化の中にあっても、市民が快適に暮らせる生活環境の確保が重要であるため、住環境の基盤となる市街地整備や都市施設等の更新及び適正化を図り、持続可能なまちづくりを進めることが必要である。
本計画は、これらから発生する交通を円滑に処理する道路整備、幹線道路に交通を誘導しながら主要な施設へ案内する道路施設、多様な利用ニーズに合った都市公園の長寿命化などを実施し、別に計画する中心拠点蒲郡地区都市再生整備計画(都市構造再編集中支援事業)と一体となって、基盤整備が整った地域においてだれもが安全で快適に暮らせるまちの形成と市民の生活利便性の確保を目指す。

計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 住民アンケートにおける、住みやすさ満足度を58%から68%へ増加 全ての公園について長寿命化計画を策定する(0%から100%へ増加) 長寿命化計画に基づき、計画期間中に更新を行う必要がある公園施設(遊戯施設又は照明施設)数に対する更新済み施設の割合を0%から100%にする 		
定量的指標の定義及び算定式			

	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)									
① 住民アンケートにおける、住みやすさ満足度を維持する。 住民アンケートにおける、住みやすさ満足度を点数評価をし、その平均値を集計する。	58%	63%	68%									
② 長寿命化計画を策定した公園施設の増加率 【増加率】=【計画を策定する公園施設】/【計画策定時の蒲郡市内公園施設数】	0%	100%	100%									
③ 長寿命化計画に基づく公園施設(遊戯施設又は照明施設)の更新の進捗率 【進捗率】=【評価時点の更新済み施設数】/【計画期間中に更新が必要な公園施設数(当初予定数)】	0%	40%	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	237百万円	A	237百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価(モニタリング)の実施体制	モニタリングの実施時期
関係各課による協議体制を確保	令和4年6月～令和5年3月
	公表の方法

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									R2	R3	R4	R5	R6		
A01-001	街路	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	蒲郡中部土地区画整理事業((都)蒲郡環状線)	地区面積53.3ha	蒲郡市	■	■	■	■		68	
A01-002	街路	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	交安(国)247号中央バイパス外1路線	道路標識 N=5基	蒲郡市	■	■	■	■		107	
A12-003	公園	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	蒲郡市公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画の策定 N=35公園	蒲郡市	■					10	
A12-004	公園	一般	蒲郡市	直接	蒲郡市	蒲郡市公園施設長寿命化対策支援事業	公園施設の更新 N=10公園	蒲郡市		■	■	■	■	120	
合計												237			

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計					0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①住みやすさ満足度：事業の進捗にあわせて住みやすさ満足度は着実に向上しており、事業完了時には目標を達成できる見込みであると考えられる。</p> <p>②長寿命化計画を策定した公園施設の増加率：1公園を除き策定完了しており、目標年次までにすべて完了することが確実である。</p> <p>③長寿命化計画に基づく公園施設更新の進捗率：公園施設更新の進捗は遅れている傾向にあるが着実に更新を進めており、事業期間内には100%を達成できる見込みである。</p>									
II 定量的指標の達成状況	指標①(住みやすさ満足度)	中間目標値	63%	目標値と実績値に差が出た要因	大きな差はなく、事業進捗に応じて着実の住みやすさ満足度は向上している。						
		モニタリング値	62%								
	指標②(長寿命化計画を策定した公園施設の増加率)	中間目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	1公園を除き策定完了(最終年度までには完了予定) 除外した水竹公園については、令和2年3月に供用開始したばかりであるため、5年後(令和7年度)の見直し時に計画策定するかどうかの判断を現地の状況を確認しながら行う。						
		モニタリング値	97%								
	指標③(長寿命化計画に基づく公園施設更新の進捗率)	中間目標値	40%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画に基づく公園整備が遅れている傾向にある(完了年度までには計画通り整備する予定)						
		モニタリング値	20%								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		特になし。									

3. 特記事項(今後の方針等)

令和5年度要望時に計画変更を行い、高齢者、障がい者、子どもなど多世代が安全で安心して利用できるよう、老朽化の進みつつあった公園内のトイレのバリアフリー化を事業に追加した。
令和2年度に公園施設長寿命化計画を策定し、現在、計画に基づいて遊具更新を行っている。令和5年度以降については、トイレのバリアフリー化も追加し、計画的に更新していく予定である。
次期計画においても、遊具更新、トイレのバリアフリー化の事業を継続して実施していく予定である。